※2003年11月改訂(第2版)
2000年11月作成

下　剤

日本標準商品分類番号　872356

承認番号	(61AM)1546
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1981年8月

日本薬局方

加香ヒマシ油

加香ヒマシ油「ケンエー」

＊火気注意＊

Aromatic Castor Oil

貯法：気密容器
室温保存
注意：「取扱い上の注意」の項参照

【禁忌（次の患者には投与しないこと）**】**

(1)急性腹症が疑われる患者［症状を悪化させるおそれがある。］
(2)痙れん性便秘の患者［症状を悪化させるおそれがある。］
(3)重症の硬結便のある患者［本剤では十分な効果が得られず、腹痛等の症状を増悪させるおそれがある。］
(4)ヘノポジ油、メンマ等の脂溶性駆虫剤を投与中の患者［これらの薬剤の吸収を促進して中毒を起こすおそれがある。］
(5)燐、ナフタリンなどの脂溶性物質による中毒時［これらの物質の吸収を促進させるおそれがある。］

※【組成・性状】 **〈組成〉**

1mL中　ヒマシ油　0.99mL含有。
添加物としてオレンジ油、ハッカ油を含有する。

〈性状〉

無色～類黄色澄明の濃稠な液で、芳香がある。

【効能・効果】 便秘症、
食中毒における腸管内容物の排除、
消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除

【用法・用量】 通常、成人は15～30mL（増量限度60mL）小児は5～15mL、乳幼児は1～5mLを、それぞれそのまま又は水、牛乳などに浮かべて頓用する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

小腸の消化吸収を妨げ全身の栄養状態に影響を及ぼすことがあるので連用を避けること。

2.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
消化器	悪心・嘔吐、腹痛等
過敏症注)	過敏症状

注）このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

3.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

4.妊婦、産婦、授乳婦等への投与

(1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。［子宮収縮を誘発して流早産の危険性がある。］
(2)授乳中の婦人には投与しないことが望ましい。［ヒト母乳中に移行し乳児の下痢を起こすことがある。］

5.適用上の注意

投与時：即効性であるので就寝前の服用を避けさせること。

【取扱い上の注意】 **〈注意〉**

空気中に放置すると酸敗しやすい。

【包　　装】 500mL

健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号